温州みかんの新方式マルチ栽培の実証試験を始動
～生産量、産出額、販売単価の３冠日本一をめざして～

県では、温州みかんの生産量、産出額、販売単価の３冠日本一（※）をめざしています。その一環として、今年度、巻き上げ方式による『新方式マルチ栽培実証園』を設置して、高品質・安定生産を推進し、販売単価の向上をめざします。

新方式マルチの効果を県内のみかん産地の１３カ所で実証し、今回は海南市下津町内のみかん園でマルチシートの敷設を実演します。

（※）平成 30 年産本県各順位
- 生産量　15 年連続日本一
- 産出額　４年連続日本一
- 販売単価　全国８位

１　新方式マルチの効果と特徴

水田転換園などは、傾斜園に比べ水はけが悪く、みかんの糖度が上がり難いため、販売単価が低い傾向にあります。

マルチ栽培は、シートを樹木下に敷設し、土壌への雨水侵入を適度に抑えることで、糖度の向上が期待できます。

巻き上げ方式の特徴
- 鉄管パイプをシートの両端に配置
- シートの開閉管理が容易
- 使用後は株元に巻き上げておくことできるので撤去不要
- 複数年使用可能

２　新方式マルチの現地実証モデル園の設置

- 日　時：令和２年７月 16 日 14 時 30 分～
- 場　所：海南市下津町引尾のみかん園地
  （JA ながみね下津営農生活センター（下津町下 225）に集合）
- 参加者：海南市、JA ながみね、JA ｸﾞﾙｰﾌﾟ和歌山農業振興ｾﾝﾀｰ、県等 10 名

３　今後の取組

- 新方式マルチ実証園を活用して現地検討会の開催（７月～９月）
  高品質生産をめざす生産者を対象に、マルチ栽培の管理技術習得研修を実施
  【設置園地：海南市２、有田川町７、有田市、湯浅町、広川町、日高川町は各１】

（新方式マルチ栽培の技術実証ほの推進体制
市町、JA、JA ｸﾞﾙｰﾌﾟ和歌山農業振興ｾﾝﾀｰ、農業共済組合、県）

令和２年７月 13 日	
資料提供	
担当課室	果樹園芸課
担当者	田嶋、佐原
電　話	073-441-2902